

ボランティア養成講座「草木染体験」

2026年5月17日(日)

吉野工芸の里で活動されている染色家 島田鯛子さんを講師にお迎えし、草木染の指導について学びました。白山青年の家周辺で採取できる植物を染色に使う時の注意点やコツ、染色に向く植物の種類など、島田さんの豊富な知識・経験を分けていただきました。季節を問わず手に入れやすい「玉ねぎの皮」と、周辺にたくさん自生している「ヨモギ」を使って、ハンカチを染めました。ロープやビー玉を使ってしぼり模様を出す方法を試し、染めあがった模様歓声を上げました。



ヨモギを茎ごと使います



玉ねぎの薄皮を煮だします



太めのロープで布を巻いて模様をつくります

「アカソ」は草木染でも使いますが、裂くと丈夫な繊維がとれることを教えていただきました。

染めが薄いときは2度3度と繰り返します



ヨモギの染液、鉄媒染で淡いグレーに染まりました



玉ねぎの染液とミョウバンの媒染で、きれいな黄色に染まりました